

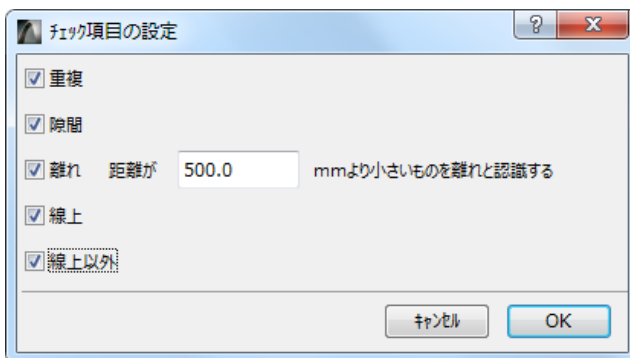
MassPlan for ARCHICAD19 Ver5 追加機能

MassPlan for ARCHICAD19 (及び 19 Solo) Ver5 の追加機能は以下の通りです。

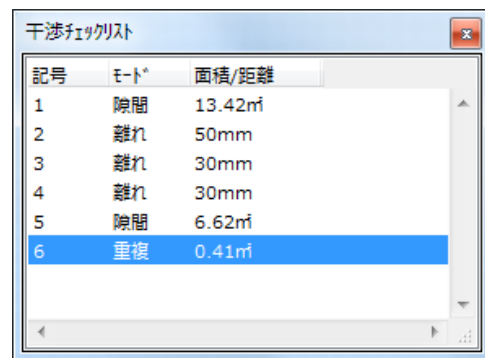
1. 干渉チェック機能

○ARCHICAD で作成されたゾーンに対して干渉チェックを行うことができるようになりました。

○ゾーンを利用した作業を行う場合のチェックが軽減されます。



★チェック実行時の DLG



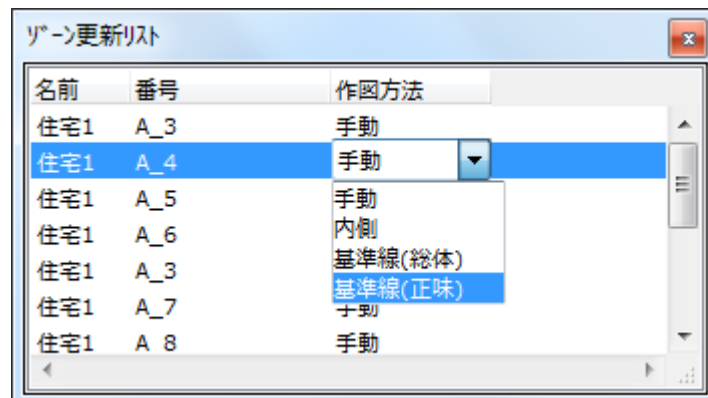
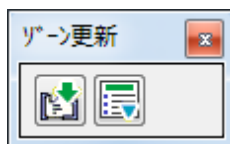
★チェック実行後の結果表示

○チェック結果は、リスト表示は勿論、リスト内で選択された項目が平面図上でハイライト表示されます。

○ゾーンエレメントさえあれば、単独で利用できる機能です。

2. ゾーン更新機能

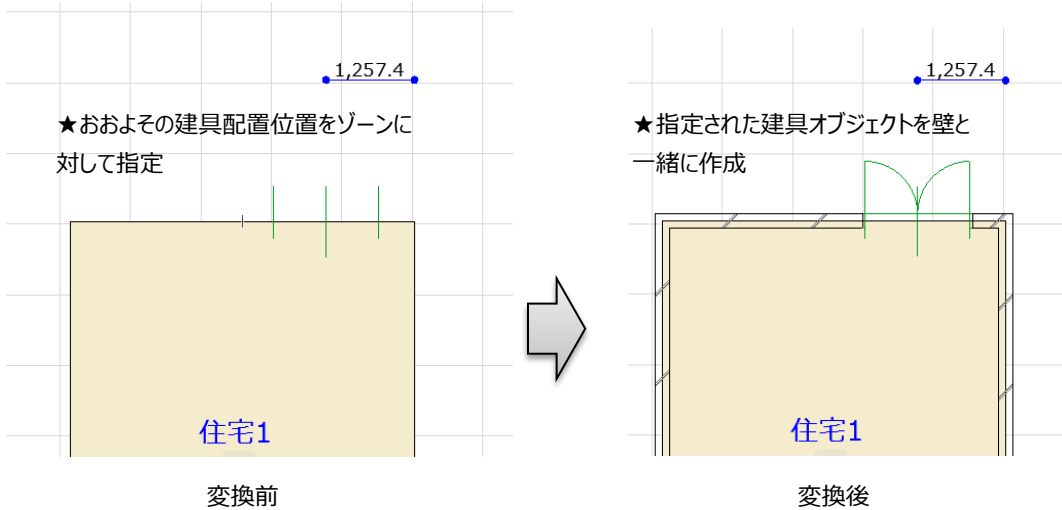
○ARCHICAD で入力されたゾーンのリストから作成 (作図) 方法を変更することが可能となりました。



○ゾーンエレメントさえあれば、単独で利用できる機能です。

3. 建具配置計画機能

○ARCHICAD で作成されたゾーンに対して、建具オブジェクトの簡易配置・編集が可能となりました。



種類	距離	幅	高さ	記号	番号	寸法線	反転
片開き戸	4874	900	2100	SD	0	v	
片開き戸	8052	900	2100	SD	0	v	
片開き戸	8377	900	2100	SD	0	v	
片開き戸	3952	900	2100	SD	0	v	
両開き戸	10162	1500	2100	SD	0	v	
両開き戸	7032	1500	2100	SD	0	v	
両開き戸	1124	1500	2100	SD	0	v	
両開き戸	22	1500	2100	SD	0	v	
両開き戸	2613	1500	2100	SD	0	v	v
両開き戸	1257	1500	2100	SD	0	v	

★リストパレットにより、各種寸法等の変更が可能

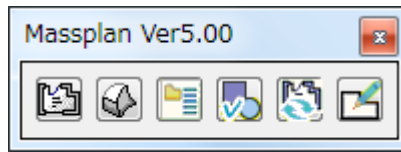
○ゾーンエレメント（手動入力）さえあれば、単独で利用できる機能です。

○建具記号及び建具番号の編集も可能です。

4. パレット構成変更

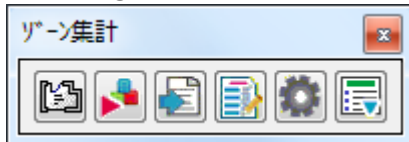
○上記までの機能拡張に伴い、パレットメニュー構成を変更しました。

[メインパレット]

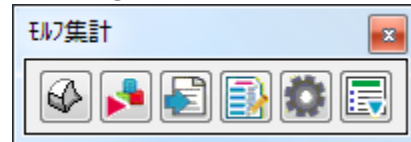


① ② ③ ④ ⑤ ⑥

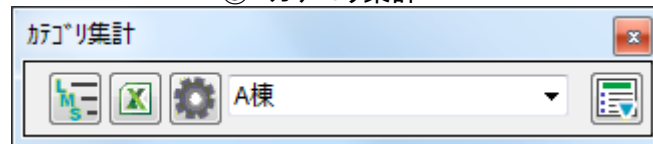
① ゾーン集計



② モルフ集計



③ カテゴリ集計



④ 干渉チェック



⑤ ゾーン更新



⑥ 建具配置計画



5. カーテンウォール変換機能

○ゾーン集計の元素変換において、外壁作成時に従来の窓配置に加えてカーテンウォールの配置も可能となりました。

6. 表出力機能強化

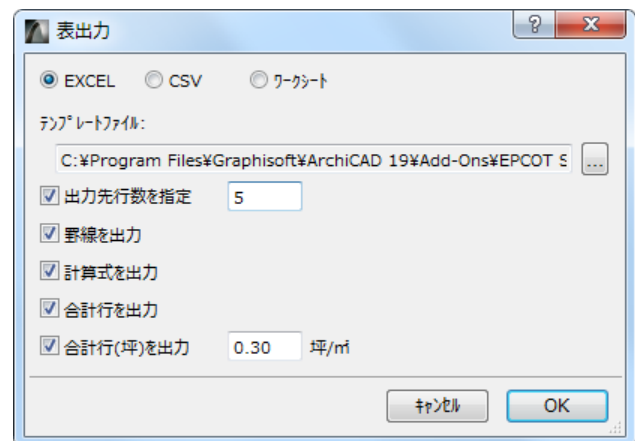
○ゾーン集計及びモルフ集計の表出力を従来の Excel 以外に、csv 及びワークシートへの出力も可能となりました。

※Excel/csv/ワークシート出力共通

- ・合計行の出力
- ・合計行(坪)出力
に対応しました。

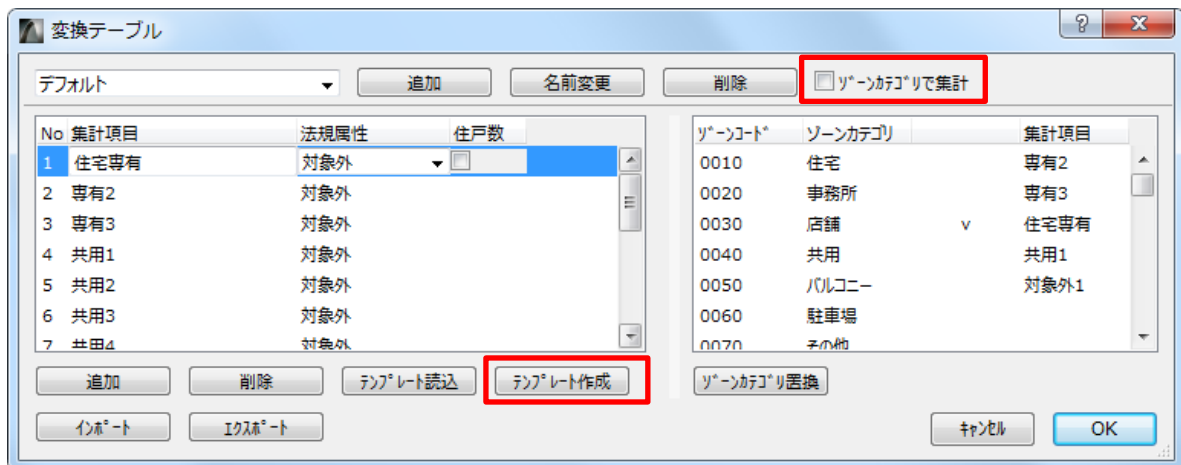
※Excel 出力の場合(上記に加え)

- ・出力先行数
- ・罫線出力
- ・計算式出力
に対応しました。



7. ゾーン集計/モルフ集計 変換テーブル機能強化

ゾーン集計及びモルフ集計の変換テーブルに“テンプレート作成”“ゾーンカテゴリで集計”を追加しました。



○テンプレート作成

- ・現在表示されている変換テーブルをテンプレートとして保存します。

○ゾーンカテゴリで集計

- ・集計項目をゾーンカテゴリと同一（1対1の関係）にします。

○その他

ゾーンカテゴリに対する集計項目の割り当て(右欄)を複数のゾーンカテゴリを選択して設定することが可能となりました。

以上